

麻生区区民会議 第14回専門部会『麻生区の魅力発掘・発信検討部会』議事要旨

- 1 開催日時：平成30年3月13日（火）午後3時～午後5時
- 2 開催場所：麻生区役所 第4会議室
- 3 出席者：[専門部会委員] 安藤和彦委員、石井よし子委員、菅野明委員、鈴木昭弘委員、高倉秀敏委員（副部会長）、長岡さや委員、橋本周委員、林恵美委員（部会長、全体会副委員長）
（欠席）松田基久乃委員、吉垣君子委員
[事務局] 企画課 安藤課長、福島係長、長瀬
[コンサルタント] 中島、永野

4 傍聴者：0名

5 議 題：

1. これまでの審議内容の振り返り

- ・『麻生区の魅力発掘・発信検討部会』におけるこれまでの審議内容を振り返るとともに、合意事項についての再確認を行った。

2. 調査・審議課題の検討について

1) 提言の検討

【今後の方向性】

- ・【提言1】は魅力を発信する横断的組織の将来的な構築の必要性など、将来の方向性を示す提言とすることとした。
- ・【提言2】は準備会の発足と冊子の発行を目指すなど、具体的な方針を示す提言とすることとした。

【主な意見】

- ・【提言1】の横断的組織の役割を整理すべきではないか。
- ・麻生区の魅力の発信は冊子の発行だけではないから、冊子の発行主体の上部組織が横断的組織になるのではないか。
- ・冊子を作ることをきっかけに、横断的組織につなげていく流れだと思う。
- ・横断的という言葉には抵抗を感じる。
- ・横断的団体は公募によって選ばれた方や各種団体の集合することで、麻生区の魅力を発信すべき団体という位置づけだと思う。
- ・継続性を持つということは賛成だが、実際に横断的組織を作ることは難しいと思う。
- ・【提言2】の冒頭に【提言1】とのつなぎの表現（【提言1】を実現する第一歩として【提言2】を行うなど）が必要ではないか。

- ・冊子を発行したことの効果を検証する必要があるということまで【提言2】に盛り込むべきではないか。そのような検証主体は【提言1】の横断的組織であると思う。
- ・提言の順番に関しては、総論、各論の流れになっている現状のままで良いと思う。
- ・準備会が横断的組織につながっていくところまで書く必要はないのではないかな。
- ・この部会としては冊子を作るというところで一区切りとすべきだと思う。
- ・横断的組織の必要性を指摘したうえで、まずは冊子を作るという今の提言の流れで良いと思う。
- ・小さなことをコツコツやっていく過程で機運が盛り上がれば横断的組織もできるかもしれないが、まずはできることからやれば良いと思う。
- ・この部会で話し合ってきた思いよりもさらに強い思いを持った専門の分野の方が集まらないと横断的組織にはならないと思う。
- ・冊子の発行主体に関してはゼロベースではなく、区民会議委員も関わるべきだと思う。
- ・冊子の発行で終わってしまうと、【提言1】を提言する責任を果たせないような気もする。

2) 報告書の検討

【今後の方向性】

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・委員の意見をもとに報告書（案）をブラッシュアップしていくこととした。・冊子イメージは資料編に掲載することとした。 |
|--|

【主な意見】

- ・提言のため、それにふさわしい語尾に修正していただければと思う。
- ・審議課題の検討の部分の「麻生区の農業」の内容は間違いではないが、表現方法を変えた方が良いと思う。
- ・「空き家の活用・状況把握」については、テーマとして取り上げないとしても良いのではないかな。

3. その他

- ・次回は4月10日（火）に開催する予定であることを伝達した。

以 上